

2012年7月6日

各 位

カンボジア物流合弁会社設立について

《CLMV 諸国での事業展開への出発点》

当社は CLMV 戦略としてカンボジアのプノンペンに合弁会社を設立し、私たちが目指す『総合物流のオルガナイザー』の役割を果たすべく近隣諸国に物流網を構築することになりました。

CLMV とは、カンボジア(Cambodia)、ラオス(Laos)、ミャンマー(Myanmar)、ベトナム(Vietnam)というインドシナの4カ国のことで、当社はこの地域の物流事業を展開していきます。

■ 概要

会 社 名	Omori & Thomas Logistic Services (Cambodia) Co., Ltd.
事務所所在地	No.113, 4FDE Parkway Square, Mao Tse Toung Blvd., Sangkat Toul Svay Prey I, Khan Chamkamorn, Phnom Penh, 12308, Kingdom of Cambodia
検品所所在地	OLAIR DRY PORT Prey Pring Khang Tboung Village, Sangkat Chomchao, Khan Dangkor, Phnom Penh, Kingdom of Cambodia

※事務所及び検品所とも電話番号は、決まり次第掲載します。



■ 事業内容

1. 海・陸・空路及びあらゆる輸送手段の組み合わせによる一貫輸送、国際貨物利用運送事業
2. 貨物運送の代理業務サービス
3. 商品の品質管理サービス（自社検品所での検品・検針サービス）
4. 倉庫保管 その他物流に関する関連業務全般

■ 設立の背景

従来カンボジアの現地縫製工場は大ロットの生産を欧米アパレル関連企業から受注しており、製品の品質管理が厳しい日本向けの生産には大きな興味を持たないとされています。しかし、ビジネススキームの変化により日本向け出荷にも積極的な姿勢となりつつあり、日本のアパレル企業の関心も高まりつつあります。

■ 特徴

□ 国際貨物運送に関わる物流サービス

カンボジア発着の国際貨物運送に関わる物流サービスについては、当社はこれまでカンボジア側の業務を提携先フォワーダーである **Thomas International Services Co.,Ltd.(TIS)** に委託しておりました。しかし、これより先はこの新会社がその物流サービスを引継いで取り扱うこととなります。

日本人を含めた新会社のスタッフがお客様に対応し、信頼性の高い **TIS** のパフォーマンスを引き続き活用することによって、お客様への支援サービスの質を向上させます。

例えば、メコン川を上下するバージ船や陸路で国境を越えるトラック・ドレージを使って隣国ベトナムのホーチミンを経由して外洋航路へ積替えるサービス、或いはカンボジア唯一の海浜港であるシアヌークビル港から船積みをするサービスなど、お客様のニーズやその時々での現地の状況に適したルートで対応し、最適な物流ソリューションを提供することができるものと期待しております。

□ 縫製品の検針・検品サービス

新会社が提供する物流サービスのメニューのひとつに、縫製品の検針・検品があります。

プノンペン市内には政府が定めた ドライポート が5か所ありますが、そのひとつであるオレア (**Oclair**) ドライポート内に検品所を建設中で、今年9月から業務を開始する予定です。

その特徴は、荷物の搬入以降は検品からバン詰め、通関、船のブッキングから船積みまでをワンストップサービスとして提供できる点で、サプライヤーによる工場バン詰めや通関・船積み手配というカンボジアでの貨物輸送の慣例とは一線を画すこととなります。本邦側は、当社が輸入手続きから戸別配送まで対応致します。

ドライポート (**Dry - port**) とは、税関機能を有する内陸のコンテナ取扱施設のことで、インランド・デポ (**Inland Depot**) と同じものです。プノンペン港はメコン川沿いの河川港で市街地内にあるため、このようなヤードが港の後背地に作られています。

以 上